

八戸理容美容専門学校 教育編成委員会 議事録

日時 : 令和 3年 2月 8日 月曜日 15:00～

場所 : 八戸理容美容専門学校 会議室

出席者 : 川崎 勢 (企業団体委員) 理容組合八戸支部 副支部長
寺下 晴美 (企業委員) 同窓会会長 理容ロイヤル代表
晴山 安子 (企業委員) パーマハウスひとみ代表
稲村 明美 (企業委員) 稲村 美容院代表
伊藤 有信 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 校長
佐々木 哲子 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 副校長
笹山 留美子 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 副教頭
高谷 真紀子 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 教務

欠席者 : なし

議 事

1・学校長挨拶

:「皆さんお忙しい中、コロナ禍の中、学校の為にわざわざ来て頂いてありがとうございます。
忌憚のないご意見を皆さんから頂いて、学校のカリキュラムの選択課目や、4月新学期の教育
課程編成に活かしてまいりたいのでよろしく願いいたします。」

・出席者紹介

:出席者の確認

「本日の出席者は、教育課程編成委員会として外部から4名、学校から4名の計8名です。」

・配布資料の確認

:「配布資料は、3部ですので、ご確認をお願い致します。①-1 選択課目アンケート、②学生アンケート、③保護者アンケート、「校長通信」の4部です。」

・委員長(議長)選出

:「今回は、委員長の川崎委員にお願いしたいと思います。」

「なお、今回の会議は、委員総数8名中、過半数以上の全員が出席ということで、教育編成委員会会議規定第5条により成立していることを報告させていただきます。」

「それでは、川崎委員お願いいたします。」

:「それでは、令和2年度第2回教育課程編成会議を開催いたします。それでは、お手元にお配りした、次第によりまして進めさせていただきます。会議に先立ちまして、黒沢理事長からご挨拶申し上げます。

よろしく願いいたします。

・理事長挨拶

:「本校の教育課程編成委員の皆さんの現場のからのご意見を頂きより良いものを作っていきたい
と思います。

よろしく願いいたします。

㊦ 報告事項

: 選択科目についての学生アンケート報告、学生の授業アンケート、保護者アンケートについて説明します。ご質問があれば、各アンケート報告後をお願いします。

① 選択科目についての学生アンケートについて

高谷: 1年生 47名、2年生 42名に対してアンケートをいたしました。(資料①)

寺下: (3) 対策で実習活動時間に時間をかけすぎているとあるが、時間配分はどのぐらい時間があるのか。

高谷: 選択科目は96時間を取っており、各選択科目のシラバスにもありますが、実習、理論等配分は決まっている。実技になると得意、不得意等もあるので多少実技に重点をおく場合もある。

佐々木: 選択科目は選択人数にもよって、1学年の9割が受講する科目もあります。選択科目に入る教員が現在2名ですが、受講人数に応じて教員を増員出来れば、目が行き届いた指導をする為に配置も考えていきたい。

理事長: 1年次、2年次の受講する選択科目はどうなっているか。

佐々木: 1年次ではネイル、メイク、スタイリスト、2年次ではエステ、ブライダル、マツエクの6つになります。

寺下: アンケートにあるカットとかツブブロックなどは1年生の興味があるものになりますか。

佐々木: 学生のアンケートでは、選択科目ではやらない内容に興味を示している。2年生で展示作品作りではアレンジカット、アップスタイルなども授業の中でやりますが、1年生が早くやりたいと興味を持つことは良いことだと思う。

② 学生の授業アンケート(資料②)について

高谷: 1年生 47名、2年生 42名に対してアンケートをいたしました。(資料②)

伊藤: (2) で授業の説明や教材などが工夫され、分かりやすいですかの問いに対して、佐々木副校長は使用した教材等で良かった教材はありますか。

佐々木: 教育センターの教材のDVDを使用しますが、使用出来る教室と出来ない教室があるので、設備を整えて欲しい。

伊藤: 教材のことで、使用したくても使用できない状況があることを、皆さんにご理解頂きたいです。次に笹山先生は現在理容科の1年生2名の担当ですが、授業で何か工夫されていることはありますか。

笹山: 人数が多くても少なくても同じく進めていかないといけないので、人数が少ないので目が行き届くのは良いのですが、やる事や組み立て、カリキュラム等は同じくやっている。

佐々木: 美容では昼間よりも夜間は人数が少ないので、進みが早くなるので、ペース配分が難しいです。

伊藤: 通常の場合昼間の美容では2クラスあって1クラス約20名いますが、理容では2名であり授業の進み具合も違うというところをご理解して頂きたい。

次に(3)の問いで高谷先生は夜間課程、選択科目での授業が多くなると思いますが、学生に授業するための大切にしているルールとかありますか。

高谷：選択課目では礼儀作法も教えていますので、言葉遣い、立ち居振る舞いなど厳しく指導しているところ。出来るだけ一方的な授業ではなく、学生に均等に質問をして答えてもらえるようにしています。

伊藤：来年度の授業づくりの中で先生方と話し合いをしながら、その中で、統一していけるものは、皆さんで共通理解をしてやっていくことの方が学生達にも身につく。教育目標の1番最初に礼儀作法にも関わってくるので授業ルールについても一人で頑張っても限界があるので、共通歩調で指導していきたい。

理事長：選択課目の資格について、どのような資格が取れるのか。

佐々木：メイクは学校の修了書、ネイルは資格取得でネイリスト協会の初級検定、初級合格者から中級受験希望者は中級まで取得できる。スタイリストも検定があり、エステも検定があります。ブライダルは学校の修了書、マツエクも検定があり資格です。ネイルは1年次で初級、2年次では、特別授業で検定をして資格取得する。

理事長：メイクとブライダルが修了書になっている理由は何でしょうか。

佐々木：選択課目に入る教員が検定を受けるための講習に行っていない。教育センターの講習会等に行っていない。検定を行うためには2名の教員が必要になります。ブライダルでは、教員が着付けの資格を着付け教室に通って資格取得をすると、何十万と費用が掛かる。着付けはかなり高額になります。

寺下：就職してから資格を取るようになるのか。

佐々木：資格を取るというか、着付けは就職をした美容室の先生から教えてもらうことが多いし、花嫁着付けに関しても就職場所のお店の先生のを習うことになる。自分で習ってきたものと、お店の先生のが違うことになってしまう。先生によっても、コンテストによってもやり方が違う。その為学校としての検定は難しくなる。

寺下：資格を欲しいのは分かるが、資格取得で満足では無いが、現場に出てから実践を積むことの方が大切になる。

稲村：現場では、資格があるから実践で力になるのかが必要になる。

佐々木：サロンによっては、新人はシャンプーと清掃ばかりになるとかわいそうだからと、夏は浴衣が着付けられるように練習をさせてくれるところもある。成人式までの間に助手やセットが出来るようにしてくれている。メイクも各メーカーやブランドなど沢山ある。学校でも、使う化粧品によって違って来る。経費がどのくらい掛かるのかで違って来る。

理事長：メイクの主流は現在どうなのか。手なのか機械なのか。ネイルも色々あるが主流は何になるのか。トニー&ガイはどのようなものなのか分からない。マツエクの指導の仕方なども説明して欲しい。

佐々木：学生には、選択課目説明ブースを全員回って説明は受けて選択を決定しています。

寺下：委員に説明をしてもらっても、内容の隅々までは分からない。

佐々木：委員の皆さんの為に、選択授業見学会をした方がいいのではないのでしょうか。

川崎：資格の有る無しで、就職の査定に関係しますか。給料等の査定に関係しないのであれば、どのような効力を持って取らせているのかが分からない。修了書などは満足に過ぎないのでは。効力がないのであれば、ここまで取らせる事もないのではないかと。

寺下：資格取得は学習意欲にも繋がる。昔は国家試験しかなかったので、資格取得はイメージアップにも繋がる。

理事長：業者の方サロン様からは、八理美卒業生に対してすごく良い評価をもらっている。資格に関しては、せっかく学校に入学したのだから資格ぐらいはということで、資格取得をさせている。

寺下：卒業させるにあたって、資格を取る事で、自信にも繋がられる。

理事長：下積みの我々の時代とは違うので、即戦力としたいと思っている。競争に勝っていくためには、モチベーションも大事で繋がっていくことである。

佐々木：一から学ばせるよりも、基本がある程度あればお店で教えるときには教えやすいと思う。お店によっては、学校で教えた事が良く出るか、悪く出るか学生達も分からないので、説明が必要になる。

川崎：資格取得に関して、取得していないと就職出来ないのかどうなのかが分からなかった。

佐々木：学校の修了書に関しては、学生に修了書の意味をきちんと説明しないといけない。お店のやり方、流派もあるので、学校で学んでいく上での事などを説明した方がよい。各自で学ぶとしたら着付けに関しては、かなり高額になる。

理事長：美容師は美容だけでは無くお店を自分で出すときには、得意な分野を見出すために色々な事をやってみる事も大切である。

晴山：学校で取得した資格は、現場では使えないことは説明していますか。

佐々木：資格は使えないわけではなく、基本を学んで卒業するが、学生は学んだら直ぐ出来ると勘違いしてしまう。他の学生も、入学して直ぐ技術が出来ると思っていた人もいた。ブライダルの仕事を希望する学生が多いが、中でも着付けは体の骨格、補正着物の名称など学ぶものが多い。美容の仕事が出来るようになって、色々なお客様を担当して学ばせてもらって経験を積んで最後に出来るようになるのがブライダルの仕事だということを学生に伝えないといけない。華やかな部分しか知らなくて、そこまでの過程が大切だということを伝えないといけない。

川崎：資格に関しては、きちんと指導はしていることは分かりました。ですが、勘違いをさせないように指導をお願いします。この他に、何かご意見があれば、お願いします。

③ 次に、業界から学校への要望についてお伺いします。

寺下：勘違いさせないように。でも、やる気がある事だと思うので、その気持ちを欠くことが無いように指導して欲しい。就職に関しては、2、3年働いて直ぐ自分で店を経営する人もいる。

理事長：辛抱が足りないのだと思う。どこの店でも下積みはあるが、スタイリストになった途端、チェーン店などに流れている。

佐々木：卒業して直ぐ店は持てるが、閉店しているサロンが多く自己責任になります。顧客が来店しても固定客には繋がらないと思う。

川崎：美容院の開業して5年後の生存率は今現在どのようになっていますか。以前だと、85%閉店と言われていました。

佐々木：個人店がかなり多くなっています。1人で、従業員を雇わないで店を開業している。

佐々木：美容は若い従業員を雇わないと、若いお客様は来店しない。経営者と共に顧客も年齢を重ねる。
理事長：10年前は卒業生に対して1割と言われていたが。離職に関して、追跡をして欲しい。

矜持について

校長：12月の矜持について、来年度の経営方針ということで学校目標など書いています。学校課題が3つあり、1つは学生募集があります。広報と理事長初め役員から、意見を出し合いながらやっていますが、本校は68年、来年度は69年目になります。70年、80年、90年と続いていくためには、学生募集は欠くことは出来ない。その為に、何があるだろうかということで、皆さんからも是非アイデアがありましたら教えていただきたい。学生募集、魅力ある学校づくり、国家試験全員合格と3つ学校課題として来年度1年頑張っていきます。来年度皆様にはもう一度、教育課程編成委員会のメンバーになっていただき、引き続きこの会が充実して頂いて本校の為に力添え頂ければと思います。

：本日の頂いた貴重なご意見をこれからの教育活動にいかしてまいります。ありがとうございました。